

単 元	年 組 番
2年「式の計算」	氏名

多項式の加法・減法

- ・加法 そのままかっこをはずし、同類項(文字の部分が同じ項)をまとめる。

$$\begin{aligned} \text{例 } (x + 2y) + (3x + y) &= x + 2y + 3x + y \\ &= 4x + 3y \end{aligned}$$

- ・減法 ひく式の各項の符号を変えてかっこをはずし、同類項をまとめる。

$$\begin{aligned} \text{例 } (x + 2y) - (3x + y) &= x + 2y - 3x - y \\ &= -2x + y \end{aligned}$$

いろいろな計算

- ・多項式と数の乗法 分配法則を使ってかっこをはずし、同類項をまとめる。

$$\text{分配法則とは} \dots x(y + z) = xy + xz$$

$$\begin{aligned} \text{例 } 3(x + 4y) &= 3 \times x + 3 \times 4y \\ &= 3x + 12y \end{aligned}$$

- ・分数の形の式 通分して計算する。

$$\begin{aligned} \text{例 } \frac{2x + y}{2} - \frac{3x - y}{4} &= \frac{2(2x + y)}{4} - \frac{3x - y}{4} \\ &= \frac{2(2x + y) - (3x - y)}{4} \\ &= \frac{4x + y - 3x + y}{4} \\ &= \frac{x + 2y}{4} \end{aligned}$$

単項式の乗法・除法

- ・乗法 係数の積に文字の積をかける。 例 $2x \times (-3y) = 2 \times (-3) \times x \times y = -6xy$

- ・除法 わる式の逆数をかける。 例 $4xy \div \frac{2}{3}y = 4xy \times \frac{3}{2y} = 6x$

等式の変形

- ・○について解く 等式の性質を利用して、式を「 $\circ = \sim$ 」の形に変形する。

$$\begin{aligned} \text{例 等式 } 3(x + y) = 9 \text{ を } x \text{ について解く。} \quad &3(x + y) = 9 \\ &x + y = 3 \\ &x = 3 - y \end{aligned}$$

チャレンジシート② 基本

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	9 問
2 年「式の計算」	氏名	

1 次の計算をなさい。

(1) $(5x + y) + (x + 2y)$

(2) $(3x + 4y) - (x + y)$

2 次の計算をなさい。

(1) $2(3x + 2y) + 4(4x - 3y)$

(2) $\frac{1}{3}x + \frac{1}{6}x$

3 次の計算をなさい。

(1) $5x \times (-3y)$

(2) $12x^2 \div 4x$

4 次の等式を x について解きなさい。

(1) $x + y = 2$

(2) $2x = 5$

(3) $5x + 3 = y$

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	9問
2年「式の計算」	氏名	

1 次の計算をなさい。

(1) $(5x^2 + 3xy - 2) + (-4xy - 5 + x^2)$

(2) $(4ab^2 - 3a - 7) - (-7 + 5a - 3ab^2)$

2 次の計算をなさい。

(1) $\frac{1}{3}(3x - 18y) - 2\left(\frac{1}{5}x - \frac{1}{2}y\right)$

(2) $\frac{x-y}{3} - \frac{x-2y}{9}$

3 次の計算をなさい。

(1) $6a^3b \times 3ab^2 \div (-2ab)$

(2) $\frac{5}{2}xy^2 \div \left(-\frac{3}{2}y\right) \div (-3y)$

4 次の等式を[]について解きなさい。

(1) $V = \frac{1}{3}sh$ [h]

(2) $b = \frac{2a+3}{5}$ [a]

(3) $t = 3(a+b+c)$ [b]

単元	年 組 番
2年「連立方程式」	氏名

要点の確認

① 加減法

- (1) 消去する文字の係数の絶対値をそろえます。
- (2) 2つの式をたすか、ひくかして、1つの文字を消去します。

$$\begin{cases} 3x + 2y = 7 \\ x + 2y = 5 \end{cases} \quad \longrightarrow \quad \begin{array}{r} 3x + 2y = 7 \\ -) \quad x + 2y = 5 \\ \hline 2x \qquad = 2 \end{array}$$

② 代入法

$x = \sim$ または $y = \sim$ の形の式を他方の式に代入し、1つの文字を消去します。

$$\begin{cases} y = 2x - 1 \\ x + 2y = 13 \end{cases} \quad \longrightarrow \quad x + 2(2x - 1) = 13$$

③ いろいろな連立方程式の解き方

- カッコのある連立方程式

分配法則を使ってカッコをはずします。

$$m(a + b) = ma + mb$$

- 係数に小数をふくむ連立方程式

両辺を10倍、100倍、・・・して係数を整数にします。

- 係数に分数をふくむ連立方程式

両辺に分母の最小公倍数をかけて分母をはらい、係数を整数にします。

④ 連立方程式の解と係数

解が与えられた連立方程式の場合

- (1) 与えられた連立方程式の解を代入します。
- (2) わからない文字についての連立方程式とみて、その連立方程式を解きます。

チャレンジシート② 基本

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	4 問
2 年「連立方程式」	氏名	

1 次の連立方程式を加減法で解きなさい。

(1)

$$\begin{cases} 2x + y = 14 \\ x + y = 6 \end{cases}$$

(2)

$$\begin{cases} 3x - y = 13 \\ 2x + 3y = 5 \end{cases}$$

2 次の連立方程式を加減法で解きなさい。

(3)

$$\begin{cases} y = x - 1 \\ x + 2y = 7 \end{cases}$$

(4)

$$\begin{cases} 2x + y = -3 \\ x = 3y + 2 \end{cases}$$

単 元	年 組 番	4 問
2 年「連立方程式」	氏名	

1 次の連立方程式を解きなさい。

(1)

$$\begin{cases} x - y = 2 \\ 2x = 3(y - 1) \end{cases}$$

(2)

$$\begin{cases} 0.5x - 0.3y = 1 \\ 0.1x = 0.3y + 0.2 \end{cases}$$

(3)

$$\begin{cases} 3x + 4y = 6 \\ \frac{1}{4}x - \frac{1}{3}y = 1 \end{cases}$$

2 50円切手と80円切手を合わせて10枚買い、710円払いました。50円切手と80円切手をそれぞれ何枚買いましたか。

チャレンジシート② 基本

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	8 問
2 年「一次関数」①	氏名	

1 以下の問いに答えなさい。

(1) 一次関数 $y = 2x + 5$ の傾きと切片を答えなさい。

傾き...	切片...
-------	-------

(2) x の増加量が 1 のときの y の増加量を答えなさい。

(3) 一次関数 $y = -2x + 4$ で、 x の値が増加すると y の値は増加するか減少するか答えなさい。

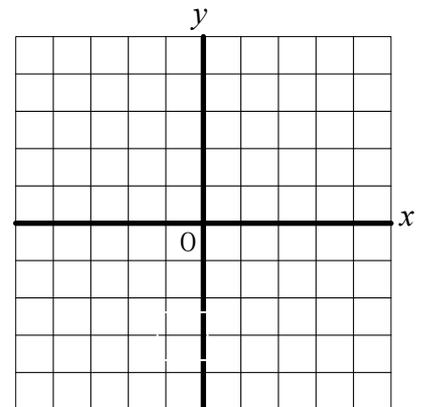
(4) 一次関数 $y = 3x - 6$ のグラフで、 y 軸上の通る点の座標を答えなさい。

点(,)

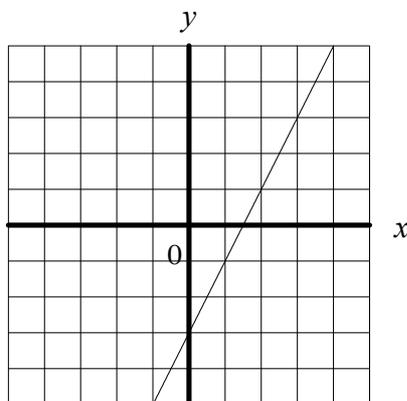
2 下の一次関数のグラフを書きなさい。

(1) $y = x + 2$

(2) $y = -2x + 3$



3 (1) 次の直線の式を答えなさい。



(2) y は x の一次関数で、点 $(1, 2)$ を通り、傾き 3 の直線の式を求めなさい。

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	9 問
2 年「一次関数」②	氏名	

1 一次関数 $y = 3x - 9$ について、以下の問いに答えなさい。

(1) $x = -4$ のときの y の値を求めなさい。

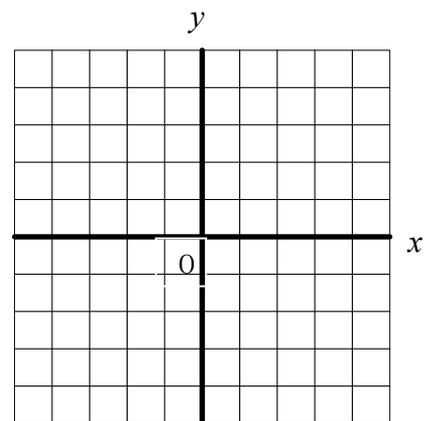
(2) x の増加量が 3 のときの y の増加量を答えなさい。

(3) x が -2 から 3 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

2 下の一次関数のグラフを書きなさい。

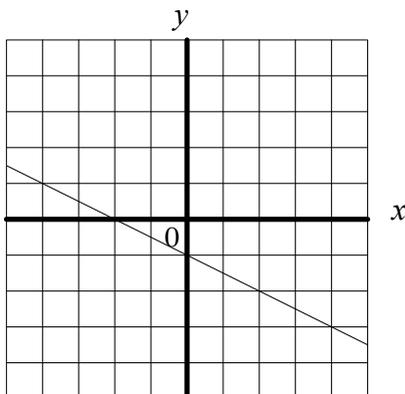
(1) $y = \frac{1}{2}x - 2$

(2) $y = -\frac{2}{3}x + 3$



3 次の各問に答えなさい。

(1) 下の直線の式を答えなさい。



(2) 点 $(-1, -7)$ を通り、傾きが -5 の直線

(3) 点 $(-3, 4)$ を通り、切片が 5 の直線

(4) 2 点 $(-2, 5), (3, 10)$ を通る直線

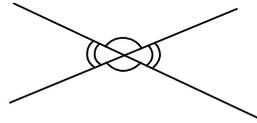
チャレンジシート① 学ぶ

学習日 年 月 日

単元	年 組 番
2年「図形の調べ方」	氏名

1 対頂角

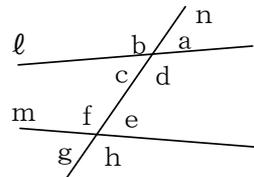
- ① 2直線が交わったときにできる向かい合った角を対頂角という。
- ② 対頂角は等しい。



2 同位角と錯角

下の図のように、2直線がℓ、mに直線nが交わると8つの角ができる。

- ① ∠aと∠eのような位置にある角を同位角という。
- ② ∠cと∠eのような位置にある角を錯角という。



3 平行線と角

- ①平行線の性質
 - (1) 2直線が平行ならば、同位角は等しい。
 - (2) 2直線が平行ならば、錯角は等しい。
- ②平行線になる条件
 - (1) 同位角が等しいならば、2直線は平行になる。
 - (2) 錯角が等しいならば、2直線は平行になる。

4 三角形の角

- ①三角形の内角の和は、 180° である。
- ②三角形の1つの外角は、そのとなりにない2つの内角の和に等しい。

5 角の種類と三角形

- ① 0° より大きく 90° より小さい角を鋭角という。
- ② 90° より大きく 180° より小さい角を鈍角という。
- ③三角形の3つの角
 - (1) 3つの角がすべて鋭角…鋭角三角形
 - (2) 1つの角が直角…直角三角形
 - (3) 1つの角が鈍角…鈍角三角形

6 多角形の角

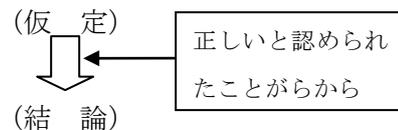
- ① n角形の内角の和 $180^\circ \times (n - 2)$
- ② n角形の外角の和 360°

7 合同な図形についての性質

- ① 合同な図形の性質
 - (1)対応する線分の長さは等しい。
 - (2)対応する角の大きさは等しい。
- ② 三角形の合同条件
 - (1) 3組の辺がそれぞれ等しい。
 - (2) 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい。
 - (3) 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい。

8 証明と証明のしくみ

- ① あることがらの成り立つことを、すじ道をたてて明らかにすることを証明という。
- ② 「(ア) ならば (イ) である。」
 - (ア)は、与えられてわかっていること…仮定
 - (イ)は、(ア)から導こうとしていること…結論



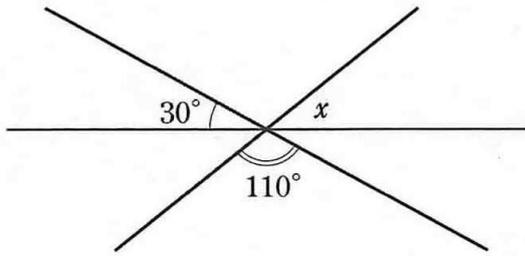
チャレンジシート② 基本

学習日 年 月 日

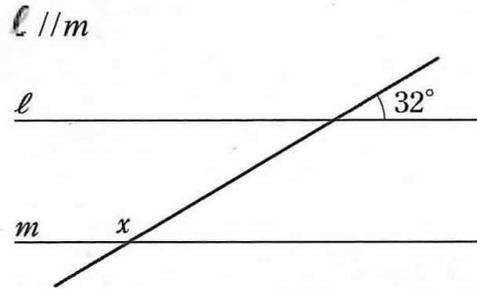
単 元	年 組 番	6 問
2 年「図形の調べ方」	氏名	

1 次の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

(1)

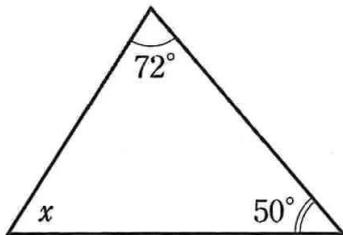


(2)

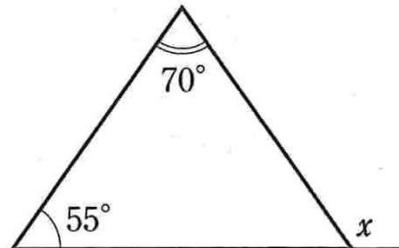


2 次の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

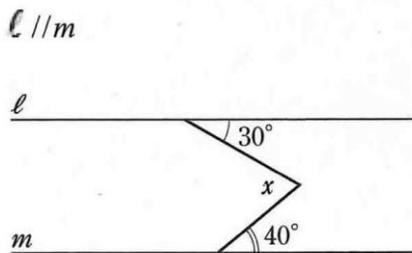
(1)



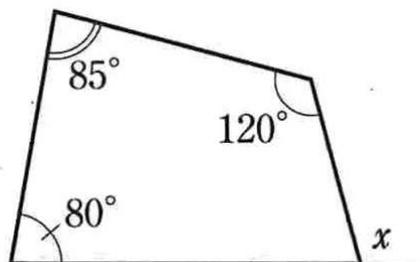
(2)



(3)



(4)



チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	7 問
2年「図形の調べ方」	氏名	

1 次の問いに答えなさい。

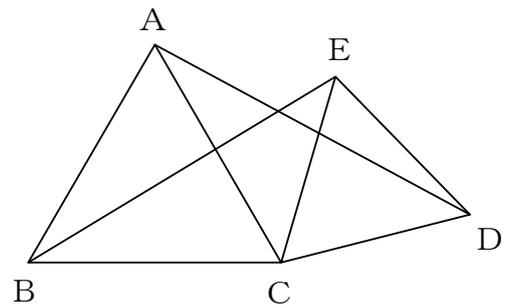
(1) 六角形の内角の和を求めなさい。

(2) 正六角形の1つの内角の大きさを求めなさい。

(3) 内角の和が 2520° となる多角形は何角形ですか。

2 右の図で、 $\triangle ABC$ 、 $\triangle CDE$ は正三角形である。
 $\triangle ACD \equiv \triangle BCE$ であることを、次のように証明した。

にあてはまるものを入れなさい。



(証明) $\triangle ACD$ と $\triangle BCE$ で、
 $\triangle ABC$ 、 $\triangle CDE$ は正三角形だから、

$AC =$ $\dots \textcircled{1}$

$CD =$ $\dots \textcircled{2}$

$\angle ECD =$ だから、

$\angle ACD = \angle BCE \quad \dots \textcircled{3}$

①、②、③から がそれぞれ等しいので

$\triangle ACD \equiv \triangle BCE$

単元	年 組 番
2年「図形の性質と証明」	氏名

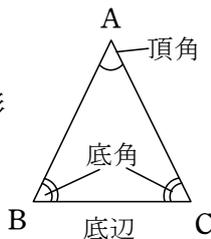
1 定義、定理、逆

定義…ことばの意味をはっきり述べたもの。
 定理…証明されたことがらで重要なもの。
 逆…あることがらの仮定と結論を入れかえたものを、そのことがらの逆という。

2 二等辺三角形

①二等辺三角形の定義

(1)定義…二つの辺が等しい三角形
 (2)AB=ACの二等辺三角形ABCで、
 $\angle A$ を頂角、 $\angle B, \angle C$ を底角
 辺BCを底辺 という。



②二等辺三角形の性質

(1)二等辺三角形の2つの底角は等しい。
 (2)二等辺三角形の頂角の二等分線は、底辺を垂直に二等分する。

③二等辺三角形になるための条件

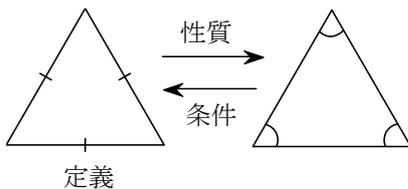
2つの角が等しい三角形は、二等辺三角形である。

3 特別な二等辺三角形

①頂角が直角である二等辺三角形を直角二等辺三角形という。

②3つの辺が等しい三角形を正三角形という。

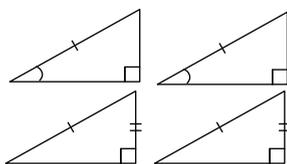
(1)性質…正三角形の3つの角は等しい。
 (2)正三角形になるための条件…3つの角が等しい三角形は、正三角形である。



4 直角三角形の合同条件

2つの直角三角形は、次の各場合に合同である。

- ①斜辺と1つの鋭角が、それぞれ等しいとき
- ②斜辺と他の1辺が、それぞれ等しいとき



5 平行四辺形

①定義…2組の対辺がそれぞれ平行な四角形

②性質

- (1)平行四辺形の2組の対辺はそれぞれ等しい。
- (2)平行四辺形の2組の対角はそれぞれ等しい。
- (3)平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わる。

③平行四辺形になるための条件

- (1)2組の対辺がそれぞれ平行である。
- (2)2組の対辺がそれぞれ等しい。
- (3)2組の対角がそれぞれ等しい。
- (4)対角線がそれぞれの中点で交わる。
- (5)1組の対辺が平行で等しい。

6 特別な平行四辺形

①長方形、ひし形、正方形の定義

- 長方形…4つの角が等しい四角形
- ひし形…4つの辺が等しい四角形
- 正方形…4つの角が等しく、4つの辺が等しい四角形

②長方形、ひし形、正方形は、平行四辺形の特別なものである。したがって、平行四辺形の性質を全部もつ。

③四角形の対角線

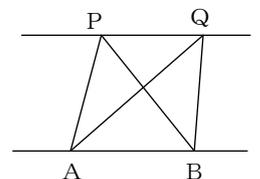
- 長方形…対角線は等しい。
- ひし形…対角線は垂直に交わる。
- 正方形…対角線は等しく、垂直に交わる。

7 底辺が共通な三角形

1つの直線上に2点A, Bと、その直線の同じ側にある2点P, Qについて

① $PQ \parallel AB$ ならば、
 $\triangle PAB = \triangle QAB$

② $\triangle PAB = \triangle QAB$ ならば、
 $PQ \parallel AB$



チャレンジシート② 基本

学習日 年 月 日

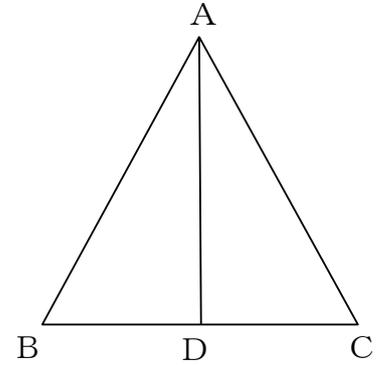
単 元	年 組 番	10 問
2 年「図形の性質と証明」	氏名	

1 次の定理の仮定と結論を、右の図の記号を使って表しなさい。

(1) 二等辺三角形の2つの底角は等しい。

仮定

結論



(2) 2つの角が等しい三角形は二等辺三角形である。

仮定

結論

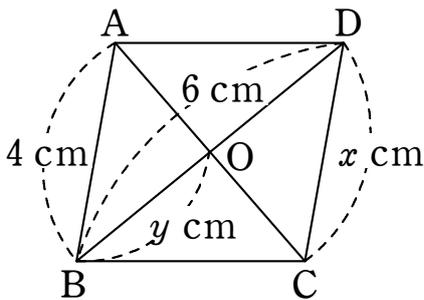
(3) 二等辺三角形の頂角の二等分線は、底辺を垂直に2等分する。

仮定

結論

2 次の図で、四角形 ABCD は平行四辺形である。このとき、 x 、 y の値を求めよ。

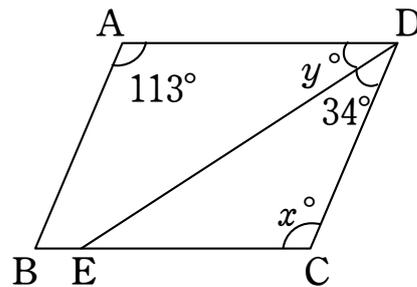
(1)



x

y

(2)



x

y

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	7問
2年「図形の性質と証明」	氏名	

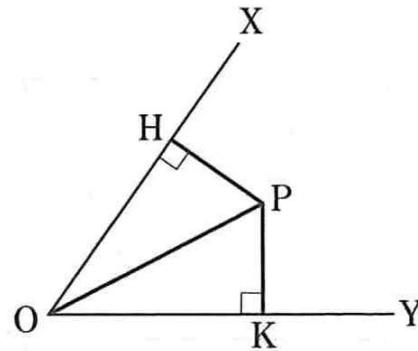
1 $\angle XOY$ の内部の点Pから、2辺OX、OYにひいた垂線PH、PKの長さが等しいとき、OPは $\angle XOY$ を2等分することを、次のように証明しました。□ をうめ、証明を完成させなさい。

(証明) $\triangle POH$ と $\triangle POK$ で、
 $PH \perp OX$ 、 $PK \perp OY$ だから

$\angle PHO = \angle \square = 90^\circ$

また、 $PH = \square$

$PO = \square$



だから、直角三角形の□が

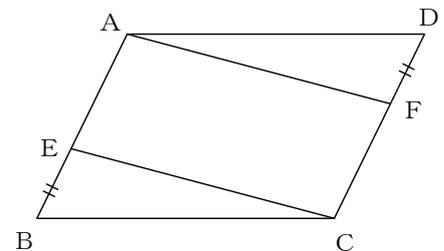
それぞれ等しいので、 $\triangle POH \equiv \triangle POK$

よって、 $\angle \square = \angle POK$

したがって、OPは $\angle \square$ を2等分する。

2 右の図の平行四辺形ABCDで、 $BE = DF$ ならば、四角形AECFは平行四辺形である。これを証明しなさい。

(証明)



単 元

年 組 番

2年「確率」

氏名

確率の求め方

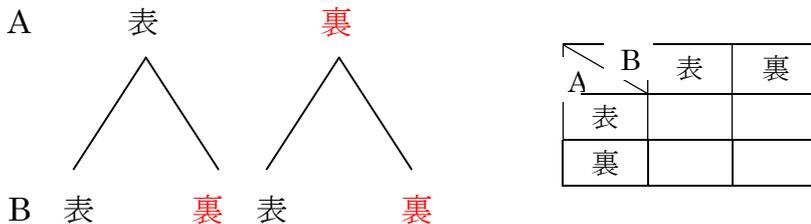
- ・ 確率 あることがらの起こることが期待される程度を表す割合のこと。
- ・ 確率の求め方 起こりうる場合が全部で n 通りあり、そのどれが起こることも同様に確からしいとする。そのうち、ことがら A の起こる場合が a 通りで、 A の起こる確率を p とする。

$$p = \frac{a}{n}$$

- ・ あることがらの起こる確率の範囲 $0 \leq p \leq 1$

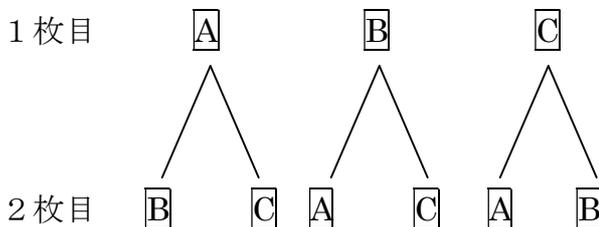
確率の求め方(樹形図①)

- ・ 起こりうるすべての場合を書き出すとき、樹形図がよく使われる。
例 A,B 2枚の硬貨を同時に投げるとき、表裏の出方(表を使うこともできる)



確率の求め方(樹形図②)

- ・ 順に取り出すとき A-BとB-Aのように順序が逆のものは区別して2通り考える。
例 3枚のカードA、B、Cから、2枚のカードを1枚ずつ順に取り出す。



確率の求め方

- ・ 同じものがいくつかあるとき 番号などをつけて区別して考える。
- ・ 同時に取り出すとき A-BとB-Aのようなものは、同じものとして1通りと考える。

例 赤玉1個と白玉2個が入っている袋から同時に2個の玉を取り出す。

※白玉2個→①, ②と区別。

●-① ●-② ①-②

チャレンジシート② 基本

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	8 問
2 年「確率」①	氏名	

1 以下の問いに答えなさい。

(1) 1つのサイコロを投げるとき、出る目は何通りあるか。

(2) 1つのサイコロを投げるとき、1の目が出る確率

(3) 1つのサイコロを投げるとき、奇数の目が出る確率

(4) 2枚の硬貨を同時に投げるとき、表裏の出方は全部で何通りあるか。

(5) 2枚の硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表になる確率

(6) 2枚の硬貨を同時に投げるとき、1枚が表で1枚が裏になる確率

(7) 白玉1個と赤玉2個が入った袋から、同時に2個の玉を取り出すとき、取り出し方は全部で何通りあるか。

(8) 白玉1個と赤玉2個が入った袋から、同時に2個の玉を取り出すとき、2個とも赤玉である確率

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	8 問
2 年「確率」	氏名	

1 以下の問いに答えなさい。

(1) 2つのサイコロを投げるとき、出る目は何通りあるか。

通り

(2) 2つのサイコロを投げるとき、出た目の数の和が3の倍数である確率

(3) 2つのサイコロを投げるとき、出た目の数の積が奇数になる確率

(4) 4, 5, 7の3枚のカードがある。この3枚のカードをよくきって、1枚ずつ取り出し、取り出した順に左から並べて3けたの整数をつくる時、全部で何通りあるか。

通り

(5) (4)で、奇数になる確率

(6) 白玉3個と赤玉2個が入った袋から、同時に2個の玉を取り出すとき、取り出し方は全部で何通りあるか。

通り

(7) 白玉3個と赤玉2個が入った袋から、同時に2個の玉を取り出すとき、同じ色の玉が出る確率

(8) (7)で、同時に2個の玉を取り出すとき、玉の色が違う確率

単 元	年 組 番	8 問
第 2 学年「式の計算」①	氏名	

1 次の単項式について、その係数と次数を答えよ。

(1) $-3ab^2$

(2) $0.1x^3$

(3) $\frac{x}{5}$

(1) 係数 次数	(2) 係数 次数	(3) 係数 次数
-----------------------	-----------------------	-----------------------

2 次の多項式について、項とその係数、次数を答えよ。

(1) $5a^2 - 3ab - 7b^2$

項			
係数			
次数			

(2) $6x^2 + 5x - 3x^4 - 1$

項				
係数				
次数				

3 次の計算をなさい。

(1) $2a+3b+4a-5b$

(2) $2(3x-4y)$

(3) $7x+3y-(x-6y)$

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

単 元	年 組 番	14 問
第 2 学年「式の計算」②	氏名	

1 次の計算をなさい。

(1) $0.5x + y - (1.2x - 7y)$ (2) $-\frac{2}{3}(3a - \frac{3}{2}b)$ (3) $x^2 + 2x + 1 - (-3x^2 + 2x - 5)$

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

(4) $2(x - 2y) - 3(4x - 3y)$ (5) $\frac{2x-3y}{4} - \frac{x-4y}{3}$ (6) $5x^2 + 3x + 1 + (-2x^2 - 3x - 4)$

(4)	(5)	(6)
-----	-----	-----

(7) $2x - \frac{y}{3} - \frac{x-2y}{5}$ (8) $-3ab \times 2b \times (-2a)^2$ (9) $(2xy^2)^2 \times (-\frac{3}{4}xy)$

(7)	(8)	(9)
-----	-----	-----

(10) $4x^2 \div 2xy \times 3y^2$ (11) $(-4a^2b^3)^2 \div 2a^3b^4 \times (-ab^2)$ (12) $(\frac{2}{3}x^2y)^2 \div (\frac{1}{6}xy)^2$

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

2 次の式の値を求めなさい。 $x = -3$, $y = 5$ のとき

(1) $6x^2y \times \frac{1}{3}y \div (-3xy)$ (2) $8x^2y \div 6xy \times (-3y)$

(1)	(2)
-----	-----

単 元	年 組 番	6 問
第 2 学年「連立方程式」①	氏名	

1 二元一次方程式 $3x - 4y = 12$ について、次の x , y の値から、解になるものすべてを選び番号で答えなさい。

(1) $(x,y) = (0,-3)$ (2) $(x,y) = (2,1)$ (3) $(x,y) = (8,3)$ (4) $(x,y) = (-4,-6)$

2 次の連立方程式を代入法で解きなさい。

(1)
$$\begin{cases} y = 3x \\ 9x - 2y = 12 \end{cases}$$

(2)
$$\begin{cases} x = 2y + 8 \\ x = 5y - 10 \end{cases}$$

(1)	(2)
-----	-----

3 次の連立方程式を加減法で解きなさい。

(1)
$$\begin{cases} 3x + y = 1 \\ x - y = -5 \end{cases}$$

(2)
$$\begin{cases} 3x - y = 5 \\ 2x - 3y = -6 \end{cases}$$

(1)	(2)
-----	-----

4 次の連立方程式を解きなさい。

$$\begin{cases} 2(3x - 2y) - x = 0 \\ 4(x + 2) - 3(y - 2) = 16 \end{cases}$$

単 元	年 組 番	問
第 2 学年「連立方程式」②	氏名	

1 次の連立方程式を解きなさい。

$$(1) \begin{cases} 0.8x + 1.5y = -5 \\ 1.4x - 0.5y = 10 \end{cases}$$

$$(2) \begin{cases} 0.5x + 0.2y = 3.3 \\ \frac{x}{4} - \frac{y}{3} = 1 \end{cases}$$

(1)	(2)
-----	-----

2 次の連立方程式が同じ解をもつという。

(1) 同じ解を求めなさい。 (2) a, b の値を求めなさい。

$$\begin{cases} ax - 4by = 25 \\ 2x - y = 8 \end{cases} \quad \begin{cases} 2ax + 8by = -14 \\ -3x + 2y = -13 \end{cases}$$

(1)	(2)
-----	-----

3 一の位の数字が 5 である 3 けたの自然数がある。それぞれの位の数字の和は 19 で、百の位の数字と一の位を入れかえてできる数は、十の位の数字と一の位の数字を入れかえてできる数より 288 小さくという。もとの自然数を求めなさい。

式

チャレンジシート① 基本

単 元	年 組 番	8 問
第 2 学年「一次関数」	氏名	

1 次の(1)～(3)の関係で、 y を x の式で表しなさい。また、 y が x の一次関数であるものをすべて選び、記号で答えなさい。

(1) 3Lのジュースを x 人で分けるときの1人分のジュース y L

(2) 1辺が x cmの正方形の周の長さ y cm

(3) 500ページの本を x ページ読んだときの残り y ページ

(1)	(2)	(3)	一次関数であるもの
-----	-----	-----	-----------

2 一次関数 $y = 3x - 12$ について、次の問いに答えなさい。

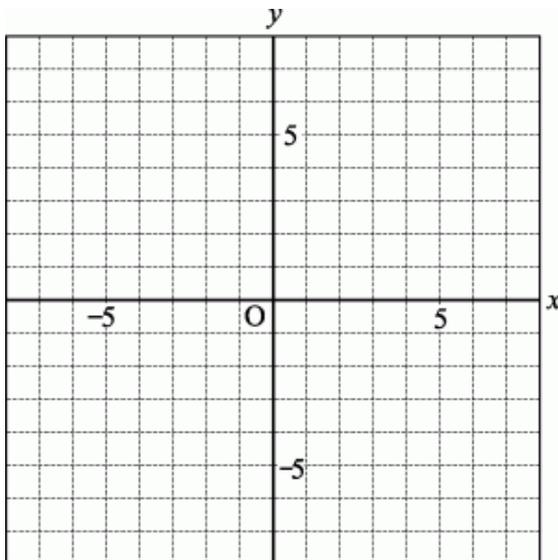
(1) 変化の割合を求めなさい。

(2) x が4増加するときの、 y の増加量を求めなさい。

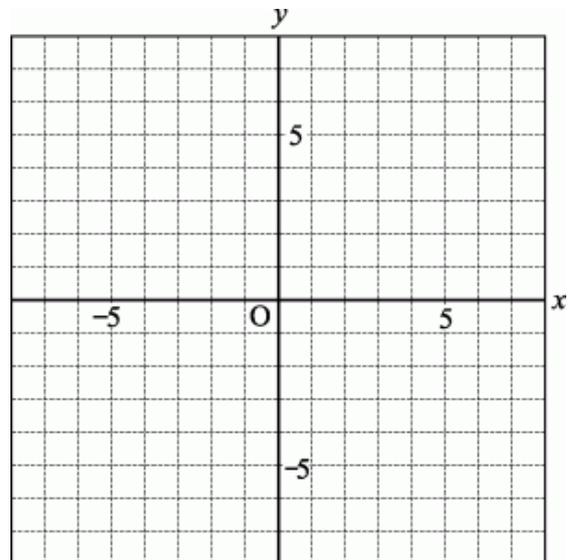
(1)	(2)
-----	-----

3 次の式のグラフをかきなさい。

(1) $y = 3x + 4$



(2) $y = -\frac{1}{2}x - 2$



単 元	年 組 番	6 問
第 2 学年「一次関数」	氏名	

1 次の直線の式を求めなさい。

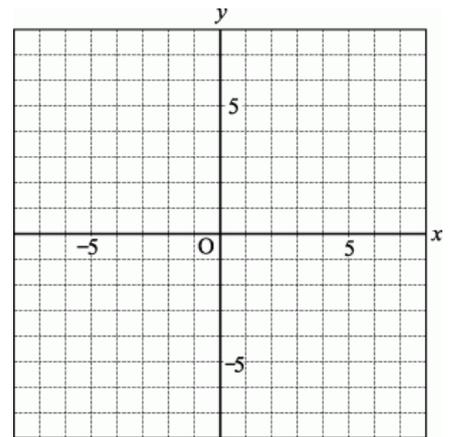
(1) 2点 $(-4, -3)$, $(5, 0)$ を通る直線

(2) 直線 $y = 4x - 3$ に平行で、直線 $y = x + 6$ と y 軸上で交わる直線

(1)	(2)
-----	-----

2 連立方程式 $\begin{cases} 2x - y = -2 \dots \textcircled{1} \\ 2x - 3y = 6 \dots \textcircled{2} \end{cases}$ について、次の問いに答えなさい。

(1) 右の図に、 $\textcircled{1}$, $\textcircled{2}$ の方程式を、それぞれグラフに表しなさい。



(2) (1) のグラフから、連立方程式の解を求めなさい。

3 深さ 60 cmの直方体の形をした浴そうに水が入っている。この浴そうに、毎分一定の割合で水を入れたところ、2分後には 30 cm, 7分後には 55 cmになった。

水を入れ始めてから x 分後の水面の高さを y cmとして、 y を x の式で表しなさい。

チャレンジシート① 基本

単 元	年 組 番	11 問
第 2 学年「確率」	氏名	

1 次の表は、2種類のびんの王冠AとBを何回も投げて、表と裏が出た回数を表にまとめたものである。AとBでは、どちらの方が、表が出やすいといえるか答えなさい。

王冠 A	表	裏	合計	王冠 B	表	裏	合計
回数	382	618	1000	回数	346	454	800

2 次のことがらについて、同様に確からしいといえるものには○を、いえないものには×を書きなさい。

- (1) 画びょうを投げるとき、針が「上向きになる」ことと「下向きになる」こと
- (2) 1枚の硬貨を投げるとき、「表が出る」ことと「裏が出る」こと
- (3) 1つのさいころを1回投げるとき、「2の目が出る」ことと「6の目が出る」こと
- (4) 2枚の硬貨を投げるとき、「2枚とも裏が出る」ことと「1枚は表で1枚は裏が出る」こと
- (5) 1組のトランプをよくきってから1枚を引くとき、「クラブのカードが出る」ことと「ダイヤのカードが出る」こと
- (6) 2人の生徒会長立候補者A君とB君で、「A君が当選する」ことと「B君が当選する」こと

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
-----	-----	-----	-----	-----	-----

3 1個のさいころを投げるとき、次の確率を求めなさい。

- (1) 5の目が出る確率
- (2) 4以上の目が出る確率
- (3) 3の目か、6の目が出る確率
- (4) 3の倍数の目が出る確率

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

単 元	年 組 番	5 問
第 2 学年「確率」	氏名	

- 1 1, 2, 3, 4の4枚のカードがある。次の問いに答えなさい。
- (1) 4枚のカードのうち2枚のカードを並べてできる2けたの整数は何通りあるか答えなさい。
- (2) 4枚のカードのうち3枚のカードを並べてできる3けたの整数は何通りあるか答えなさい。
- (3) 4枚のカードをよくきり、2枚だけを取り出して2けたの整数をつくる。それが3の倍数になる確率を答えなさい。
- (4) (3)において、2けたの整数が32以下になる確率を答えなさい。

(1) 通り	(2) 通り	(3)	(4)
-----------	-----------	-----	-----

- 2 箱の中に、当たりくじとはずれくじが合わせて15本入っている。
- この箱の中からくじを1本引くとき、当たりくじを引く確率が $\frac{1}{5}$ ならば、15本のうち当たりくじは何本あるか求めなさい。

本
